

本 部 だ よ り

第 14 回 通 常 総 会



会 長 挨 拶

横山 浩之

6月12日、リーガロイヤルホテル東京において、正会員78名(委任状681名)で開催されました。議案は全員異議なくすべて承認可決されました。

皆様、こんにちは。

本日はご多忙の中、公益社団法人中野法人会第14回通常総会にご臨席賜り、誠にありがとうございます。昨年同様、皆様からの日頃のご理解とご協力に、心より感謝申し上げます。

また、大変ご多用の中、中野税務署より、田口署長様をはじめ、ご来賓の皆様にご臨席いただきましたこと、重ねて御礼申し上げます。

私、先ほどの理事会におきまして、皆様にご承認いただき、引き続き会長を務めさせていただくことになりました。会長としては3期目となりますが、その責任の大きさを改めて感じております。今年は役員改選があり、新しいメンバーも加わりました。これからの2年間、皆様と力を合わせ、法人会のさらなる発展に尽力してまいり所存でございます。

さて、昨年申し上げました中野区の再開発プロジェクトにつきましては、一部報道にもありました通り、中野サンプラザの建設見直しなど、計画に変更が生じている部分もございます。しかしながら、駅周辺をはじめ、中野区全体の再開発は着実に進んでおり、新たな街の姿が少しずつ現れてきております。中野法人会も、このダイナミックな変化を注視しつつ、地域経済の活性化と中野区の産業振興に、微力ながら貢献していく所存でございます。

一方、足元の経済・社会情勢に目を向けますと、昨年は歴史的な円安が進行しましたが、本年は幾分落ち着きを見せつつも、依然として不透明な状況が続いております。世界的なインフレや金融引き締め政策の影響、地政学的なリスクなど、企業経営

を取り巻く環境は依然として厳しいと言わざるを得ません。特に、中小企業においては、エネルギー価格や原材料費の高騰が依然として重くのしかかっており、その影響は決して小さくありません。

このような状況下において、法人会としまして、会員企業の皆様が直面する課題に真摯に向き合い、情報提供や経営支援を通じて、その克服に少しでもお役に立てればと考えております。

昨年度に引き続き、税の啓発活動や地域企業貢献事業・地域社会貢献事業は、積極的に展開してまいります。青年部会による次世代を担う子供たちへの「租税教室」、女性部会による豊かな感性を育む「税に関する絵はがきコンクール」、そして税制税務委員会による「税の川柳コンクール」は、法人会の重要な活動として、更なる充実を図ってまいります。

また、法人会組織の強化は、持続的な活動の基盤となるものであり、会員増強と福利厚生制度の充実喫緊の課題です。会員の皆様にとって魅力ある法人会を目指し、財政基盤の安定化に努めてまいります。

この組織の更なる発展には、会員の皆様一人ひとりのご理解とご協力が不可欠です。ぜひとも、法人会活動への積極的なご参加を賜りますよう、改めてお願い申し上げます。

結びに、本日出席の皆様のご健勝と、会員企業の益々のご発展を心よりお祈り申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。



開会の辞: 木村副会長



宮治副会長



矢島副会長



柴野副会長



松本監事



川村副会長



司会: 濱副会長